

令和2年度計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上について

退職給付引当金は、協会の規定に基づく協会都合退職手当の所要額を上限として計上している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金・未収入金・前払費用・仮払金・未払金・前受会費・預り金・未払法人税・住民税・事業税・消費税等を含めている。

なお、前期末及び当期末の残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,923,578	16,258,694
未収入金	9,731,540	9,441,200
前払費用	949,090	634,420
仮払金	117,516	117,516
合 計	13,721,724	26,451,830
未払金	1,537,225	6,225,423
前受金	12,000	19,190
預り金	371,489	257,517
未払法人税・住民税・事業税・消費税	1,051,100	1,653,900
合 計	2,971,814	8,156,030
次期繰越収支差額	10,749,910	18,295,800

(3) 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高について

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	612,360	193,914	418,446

(4) 消費税の処理について

消費税は、税込経理である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
普通預金	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	6,000,000	0	0	6,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,474,600	838,250	0	11,312,850
小 計	10,474,600	838,250	0	11,312,850
合 計	13,777,007	838,250	0	17,312,850

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(5,000,000)		
普通預金	1,000,000		(1,000,000)	
小 計	6,000,000	(5,000,000)	(1,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	11,312,850	-	-	(11,312,850)
小 計	11,312,850	-	-	(11,312,850)
合 計	17,312,850	(5,000,000)	(1,000,000)	(11,312,850)